

校種：全校種

教科：指定なし

**通常学級における
授業づくりサポート**

教室の中の多様な子どもたち

学習不安で
悩む子

家庭の経済面・
生活面で悩む子

LGBTQで
悩む子

日本語理解で
困っている子



友人関係
で悩む子

障害のある子

特に支援は
必要ない子

行動・学習面で
なんだか気になる子



様々なタイプの子

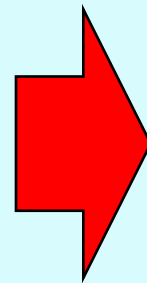
境界知能の子
発達障害の疑いのある子

教育現場の状況

通常の学級には

「学びにくさ」を感じている児童生徒が在籍している

知的発達に遅れはな
いものの学習面 又は
行動面で著しい困難
を示すとされた児童
生徒の割合



小学校・中学校

8.8%

高等学校

2.2%

通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある
特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果

令和4年12月 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

第13章 多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導

13.1.4 学校における組織的な対応

まず、発達障害のある児童生徒を含む全ての児童生徒を対象に学級全体での指導や支援を行います。分かりやすい授業、認め合い支え合う学級集団が基盤になります。学級全体への指導や支援だけでは不十分な場合は、学級の中で個別的な指導や配慮を工夫します。

「生徒指導提要」を基に図式化

個別の指導・支援
(第三段階)

個々の特性等に配慮した指導・支援
(第二段階)

合理的配慮

全ての子供に対する指導・支援
(第一段階)

教室環境UD

人的環境UD

授業UD

ユニバーサルデザイン（UD）



障害のある人にもない人にも
過ごしやすい環境をつくること



配慮を要する子どもには

・・・「なくてはならない支援」

どの子どもにも

・・・「あると便利で、役立つ支援」



授業の ユニバーサル デザイン

- ・ 視覚化
- ・ 焦点化
- ・ 共有化

教室環境の ユニバーサル デザイン

- ・ 整理整頓
- ・ ルール
- ・ システム



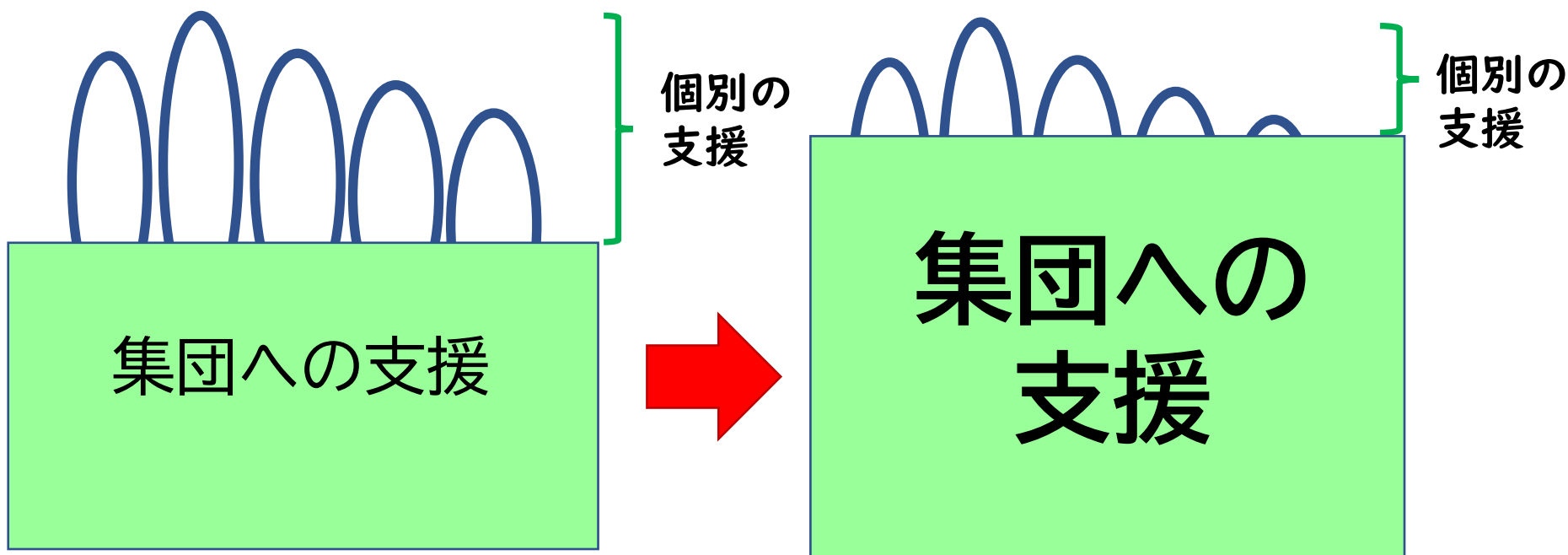
人的環境の ユニバーサル デザイン

- ・ 安心感
- ・ 共感
- ・ 集団肯定感



通常
学級

全ての子供に対する指導・支援
(第一段階)



ユニバーサルデザインの視点